

《看護ワンテーマ BOOK》

見てできる 褥瘡のラップ療法

水原章浩 編著

定価1890円(本体1800円+税5%)

医学書院 ☎03-3817-5657



褥瘡管理では個人の基礎疾患や病状をはじめ、除圧の方法、摩擦やずれ対策、スキンケアの方法、栄養管理、リハビリテーションなど、さまざまな視点から総合的に考えることが基本となります。局所の治療は医師の指示で行なうことが前提ですが、どのような方法であっても、実際のケアに関わるスタッフは安全に配慮した方法と、創を正しく評価できるように経験を積み重ねていくことが重要です。実際に褥瘡ケアを行なっている方は、治療方法に関する具体的な知識を求めているのではないのでしょうか。

在宅、施設でも可能な 現実的な選択肢

褥瘡に関する書籍は多くありますが、治療方法の内容は日本褥瘡学会の「褥瘡局所治療ガイドライン」に推奨されている外用薬とドレッシング材に言及しているものがほとんどです。実際に使用したくてもドレッシング材が入手困難な環境では、外用薬での治療や、工夫を重ねながら衛生材料を活用したケアを行なっているのが現状だと思います。また、鳥谷部俊一氏が始めたラップ療法が、在宅や介護施設を中心に広く行なわれていることから、すでにラップ療法を行なっている方もいることでしょう。

2010年3月に日本褥瘡学会が条件つきでラップ療法を認めたことから、褥瘡治療の選択肢が広がりました。このことは療養環境を問わず褥瘡ケアに関わりが多い看護師や介護スタッフが、ラップ療法について正しい知識を身につけておく必要があるということでもあります。

これまでにない現場目線のテキスト

本書は、褥瘡に限定したラップ療法について、看護師や介護スタッフの目線を考慮して構成された、これまでにない

かったテキストと言えます。編著者の水原章浩氏は、これまでの著書や講演においても、褥瘡を含めた創傷に対するラップ療法の基本手技と応用方法について紹介されています。そして、その優れた効果以上に、ラップ療法を安全に行なうための注意点について強調して述べられています。

テストとクイズで よくある疑問に答える

本書は初めての方でもイメージしやすいように症例写真が豊富で、基本的な考え方ははじめ、ラップ療法の基本手技から応用方法についてポイントを押さえた内容になっています。また、アセスメント力テストとクイズで理解度を確認することができ、現場で生じやすい疑問点についての回答も明快に述べられています。使用される材料はラップだけにとどまらず、外用薬、ドレッシング材、衛生材料の使用、またその組み合わせ方法など豊富なバリエーションがあることから、現在ラップ療法を行なっている方は、改めて学べる内容も多いと思います。また、困難な症例と照らし合わせることのできる大きなヒントを得ることのできる1冊です。